

第34回安中市行政改革審議会会議録【概要】

(以下、敬称略)

- 【日 時】 令和4年5月26日(木) 午前10時～11時
【場 所】 本庁舎201会議室
【出席委員】 9名(佐藤、茂木、小竹、小坂、渡辺、萩原、天田、武井、黛)
【欠席部会員】 2名(恩幣、嶋田)
【事務局】 5名(企画経営部長、秘書政策課長、政策推進室長、担当係員)

【配付資料】

会議次第

委員名簿

資料1 第3次行政改革大綱実施計画の実施状況

資料2 行政評価シートの見方

資料3 令和3年度 行政評価経過一覧表

資料4 令和3年度 行政評価シート

資料5 次回行政改革審議会の協議事項についての事前説明

資料6 安中市公共施設等総合管理計画 概要版

資料7 人材育成についての答申を受けて

【詳細】

1 開会 《企画経営部長》

2 市長挨拶

市長	前回の諮問事項である職員の人材育成については、答申書を受けて、所管課において計画を作成し随時取組んでいる。市民の思いに寄り添い、新たな課題に熱心に取組むことのできる職員の育成に努めたい。 今後も、委員の皆さまの英知を借り、より良い市政運営の方向が示されるようお願いしたい。
----	---

3 会長挨拶

4 協議事項

(1) 令和3年度第3次行政改革大綱実施計画の進捗状況の報告について [資料1]

<説明>事務局

◆ 第3次安中市行政改革大綱実施計画の概要について

➤ 第3次安中市行政改革大綱及び同実施計画については、行政改革審議会からの答申を

受けて、令和2年3月に策定した。計画期間を令和2年度から令和6年度までとしている。

- 大綱の推進を図るため、具体的な取り組み項目や目標を示す「実施計画」を定めている。
- ◆ 第3次安中市行政改革大綱実施計画の実施状況について
 - 令和3年度における行政改革推進項目36項目の実施状況を把握するため、令和3年度末に所管課に進捗状況の照会を行った。
 - 「年度目標達成」が13項目で全体の36%、「年度目標一部達成」が10項目で28%、「目標達成に向け実施中」が8項目で22%、「実施に向け検討中」が5項目で14%、「計画完了」と「計画中止」は0項目という結果となった。
 - 計画が実際に実施され、一部以上達成された項目が、「全体の目標達成」「年度目標達成」「年度目標一部達成」の合計で23項目（全体の64%）となっている。前年は24項目（全体の69%）となっていた。
 - 内訳は、「年度目標達成」が4項目増加しているが、「年度目標一部達成」が5項目減少している。
 - 目標が達成されなかった項目が「目標達成に向け実施中」「実施に向け検討中」で、前年よりそれぞれ1項目増加し、合計で13項目（全体の36%）となっている。
- ◆ 今後の取組
 - 令和3年度の実施結果を踏まえ、令和4年度以降の工程等を必要に応じて修正する。特に、計画に遅れが生じている項目に対して、重点的に取組を推進していく。

(2) 令和3年度行政評価の報告について [資料2、3、4]

<説明> 事務局

- ◆ 行政評価の概要
 - 市の行っている事務事業について、手段、内容の適切さや有効性などの評価を行い、事業の改善、経費の縮減など、効率的で効果的な運営につなげていく取組。
 - 行政改革審議会委員は、外部評価の評価者として参加している。
- ◆ 「行政評価シート」の見方
 - 事業をどのように見直していくかの方針を定め、その進捗を管理していくためのシートである。
- ◆ 行政評価結果の報告
 - 令和3年度に実施した行政評価について、外部評価を実施した事業の結果を報告する。

- ◆ 養蚕振興対策事業（蚕糸業継承対策補助金）
 - 市内の養蚕業を営む者に対して補助を行い、繭の生産及び出荷を奨励することを目的としている。
 - 外部評価では、碓氷製糸（株）の買取価格、蚕糸農家の経営状況等が把握できていない以上、有効性の判断ができないなどの問題点の指摘があった。
 - 解決策として、補助金の有効性を数字に基づいて議論をするべきであることと、蚕糸業の発展としては、富岡製糸場と碓氷製糸をパッケージにした観光ルートの開発などを推進すべきであるとの案が出た。
 - 事業の方向性と予算の方向性については、同程度との評価となったが、前記の解決策を検討し、補助金が無効であれば、拡大もあり得るとの評価となった。
 - 最終評価では、外部評価と同じく事業の方向性、予算の方向性は同程度となった。
 - 今後は、新規就農者等に対してノウハウや蚕具を提供できる体制の整備と、養蚕農家の収支・経営状況の把握に努め、補助金の有効性を確認することとなった。

- ◆ バス利用促進敬老割引補助金
 - 高齢者のバス利用の促進を目的として、市内を経由するバス路線の利用について、高齢者を対象に割引回数券の販売の補助をしている。
 - 補助金継続の課題の一つに、群馬バスで磁気カードが廃止される問題があるが、現在も群馬バスと今後の対応について検討中である。
 - 外部評価では、利用者数が少ないことから効果が限定的であることと、事務コストが割高となっている可能性があるとの指摘があった。
 - 事業の方向性は、バスの運行はオンデマンド型への移行を検討し長期的には廃止する。予算の方向性は代替手段を講じた後に予算要求なし、と評価された。
 - 最終評価では、長期的には廃止を検討するが、バス運行の方法の検討を行い代替手段を講じることとし、事業の方向性、予算の方向性は同程度と評価された。
 - 改善シートでは、代替手段となる公共交通施策の調査研究を進め、代替手段を講じた後には廃止する方針となっている。

<審議> ◇=委員 ●=事務局 以下同じ

◇只今の説明で質問・意見があればお願いしたい。
持ち帰って次回に質問をしてもよいと思う。
◇路線バスの IC カード問題は今も解決していないのか。
●解決していない。群馬バスとは話し合いをしているところである。
◇群馬バスは回数券利用をしないと思われる。

委員の皆様は今年も外部評価があると思うのでよろしくお願いいたします。

(3) 次回審議会以降の諮問内容について [資料5、6]

- ◆ 次回行政改革審議会の協議事項
 - 新たな諮問事項は、「公共施設の再配置について」とすることを予定している。
 - 今回は、諮問する予定の事項の概要説明にとどめる。

- ◆ 現状認識、課題
 - 安中市の課題としては、人口減少や少子高齢化に伴う税収減や社会保障費の増大による財政の圧迫、高齢化による施設需要の変化などがある。
 - 現在保有する公共施設を維持し続け、更新していくことは困難である。
 - 統廃合や複合化といった施設の適正化を検討すると同時に、遊休資産の利活用や民間への売却等を検討する必要がある。

- ◆ 安中市の計画
 - 基本的な方針を示すことを目的として、平成29年2月に「安中市公共施設等総合管理計画」を策定している。
 - 令和3年9月には、公共施設ごとの維持管理・更新の具体的な方向性を示すために「安中市公共施設等個別施設計画」を策定している。
 - 計画は、多くが施設を長寿命化する方針に偏っており、廃止や他施設への統合、民間への移譲などを検討している施設は少なく、廃止等が検討されている施設についても具体的な道筋が検討されていない。

- ◆ 諮問内容（予定）
 - 次回審議会までに市としてのより具体的な方針を所管課である資産活用課とともに検討する。
 - 次回審議会において、その方針案を諮問事項として提出したい。

<審議>

◇質問・意見があればお願いしたい。

◇市民からの問題提起や苦情はまとめていると思うが、最優先課題はないか。この諮問事項は行政側からの問題提起だと思うが、どの分野に市民からの苦情が多いのか。

●苦情があったのが動機ではなく、市が持続していくためにはリソースは限られている。公共の施設をいかに統合するかということが重要であるため、計画を作成した。市長の公約の中でも、廃校跡地の利用促進や市所有施設の在り方の検討の促進等がある。こういった経緯で諮問したいと考えている。

◇昔からの問題を放置して新しい課題に取り組むと、後々量が膨大になってしまう。この間ある会に参加したが、時代背景が変わって昔支援をしていたところと今支援が必要なところとで、膨大になっている。行政がやるべきことと民間がやることの棲み分けはもちろん、市長が変わって公約に取り組むのは構わないが、時代が変わって色々な問題がある中で、将来に向けて20年、30年先まで考えなければならないことを置き去りにすると大変なことになると想像できる。今までの中で課題があるのであればそれを行政改革審議会で審議することが必要である。
●今後安中市がより持続していくために必要な計画であるため、市長の公約と安中市の考えをすり合わせて、今の意見を含め次の審議会までに市の意見を示したい。
◇この問題だけに絞ると、過去の問題が放置される。事業を廃止するために補助金を出したのにまだ続いているものもある。さらにまた要望があって同様の事業に二重で経費をかけるという事態が出てくる。
●同様の問題意識から行政評価では、「改善シート」を作成した。過去の事業は継続して検討していく。
◇今回は諮問ではなくその前の説明ということだと思うが、次回審議会で諮問ということになるのか。次の審議会はいつ頃になるか。
●今年度第2回の審議회를9月の末ごろに開催することを予定している。それまでには諮問事項案をとりまとめて今年度第2回の審議会で諮問する。
◇大変難しい問題であると思っている。

5 その他〔資料7〕

「人材育成について」答申書提出後の経過

- ◆ 昨年答申した「人材育成について」答申書の内容を職員の人材育成に活かすため、秘書政策課と職員課にて協議を行った。
- 資料7は、協議結果とそれぞれの見解、今後の対応方針や計画をまとめたものである。この管理表に基づいて、計画を実行している。

- ◆ 令和3年度実行予定となっている項目の報告
- ◆ 「2 行政改革審議会が求める人材育成の方向性」
- 行政改革の視点を持つことが重要との考えから、当初は大綱周知の研修実施を今後の方針とした。
- 再検討した結果、研修を受けた一部の職員のみにはしか効果が発揮されないということから、全職員に大綱を周知できる方法を改めて模索。
- 副市長による行改大綱に関連する講話を撮影し、全職員に送信した。
- 今後も同様のことをしていく予定である。

- ◆ 「3 「安中市人材教育基本方針」への提言 工自己を磨く職員の育成」
- 当初、事務職におけるスペシャリスト育成を検討する方針となっていた。
- 職員課で再び検討を行った結果、専門性を高めることも必要だが、行政を多角的な視点から判断できる職員を育成し、バランスのよい行政サービスを提供するために様々な分野を経験させることが望ましい、という見解になった。
- あくまで職員課の見解であり、今後市長と方針を合わせていく予定である。

<審議>

◇昨年度議論をして諮問したことについて、昨年度に対応したことの説明であった。これについて質問・意見があればお願いしたい。
◇「2 行政改革審議会が求める人材育成の方向性」の行政改革大綱の周知徹底方法で、行政改革大綱を全職員に周知するメールを送信したとのことだったが、メールを送信しただけだと、職員が本当に見たのかわからない。感想等のフィードバックはしているか。
●通知はグループウェアの掲示板のようなもので行っている。文章を載せているものが多い中、動画を載せると興味を持って観てもらえると考えている。感想の把握はしていないが、フィードバックは行政改革大綱の認知度アンケートを行っている。
◇出し方を変えても受け取り方の姿勢を変えないと自己満足で終わってしまう。今後も定期的に行うと記載されているが、1週間に1回、1か月に1回など具体化してやった方が、受け取り側が「1か月に1回配信されるな。動画なら観てみようかな」と意識するようになる。フィードバックを意識して行った方が効果が出る。
◇執務時間中にのんびり動画を観て思考を深めるというのは困難。一定の時間拘束をしなければ、配信したからといって「観ておいてね」とするだけでは、配信した事実が残るだけで周知したことにはならないと思う。庁内のシステムは見逃し配信のようになっているのか。
●掲示板はいつでも観られる機能である。行政改革大綱に関する研修の実施を考えたが、会計年度任用職員の認知度が低いというアンケート結果になった。特定の層だけに絞るのではなく広く全職員に周知することを目的に、2、3分の動画にして、観てもらいやすいようにしている。今後のアンケート結果次第でやり方を変えていく必要はあると考えている。
◇2、3分の動画では大綱の内容を深めることにはならないと考える。「2 行政改革審議会が求める人材育成の方向性」の対応方針欄「②市長のメッセージを伝える方法を検討」とあるが、これを検討した結果、副市長を介して市長の意を伝える動画となったのか。
●対応方針②は、主旨「市長のまちづくりへの思いを職員が共有する」の対応方針であって、大綱周知の対応ではない。こちらは方法を検討中である。

◇「3 「安中市人材教育基本方針」への提言 エ 自己を磨く職員の育成」で、スペシャリストとゼネラリスト、その職員がどちらであるか。自分の強みが発揮できる部署で強みばかりを伸ばしていると、そうでない部署に配属されると優秀な人がダメになってしまう。一人ひとりに寄り沿った対応をしてあげることが大切。どの会社でも苦手なところに配属されて精神的に弱ってしまうことはある。人をダメにしない、人を育てることについては、一人ひとりに寄り添って指導する、意見を聞くといった対応が大切である。
◇行政改革大綱周知に関して、もっと実りのあるものにしたい。アンケートで「知っている」と回答してもタイトルだけで中身を知らない疑いもあったりする。小テストの機能があるのであれば、5問くらい作って答えさせて満点になるまで受けさせる。回答を覚えて答えないように選択肢をランダムにするなど工夫をする。楽しみながらでも内容を理解してもらうことが重要。
◇これで、議事が終了となる。

◆ 今後の日程

- 行政評価の外部評価の開催を8月下旬頃に予定している。
- 次回行政改革審議会の開催を9月頃に予定している。

◇資料配布が審議会の当日だと資料に目を通しきれないので、可能なら事前に頂戴したい。
●希望に沿った方法で配布する。
◇原稿ではなく、資料の原本を元に説明してほしい。
◇説明する事項を抜粋してまとめると、より分かりやすくなると思う。
●貴重な意見を活かして、まとめ方、説明方法等改善を検討する。

6 閉会